

間もなくクーデターから2年

壊されていくミャンマー

写真・1コマ漫画の展示や帰国困難な留学生らの講演を通じて
ミャンマーで「今起きていること」について考えます



亀山 仁

2005年からミャンマーを訪れ、現地の人たちやその暮らしや風土を撮影し「ミャンマーの日常」を伝える写真展開催や写真集を出版。数年前から日本とミャンマーの関係をテーマに白骨街道などを訪れ撮影を続けている。クーデター発生以降はミャンマーの人たちの望む社会の実現に向けて仲間と共に応援を続けている。



Nang Mya Kay Khaing

京都精華大学国際文化学部グローバルスタディーズ学科特任准教授。最近の研究は「在日ミャンマー人コミュニティ」。日本とミャンマー、両国を母国と考えている。来日して33年経った今、母国で起きている情勢に心を痛み、同じ思いをもつ方々とWART展を通じてミャンマーの実状を一人でも多くの方々に知っていただく活動をしている。



Spring Rose

2021年2月の軍事クーデター発生後に在日ミャンマー人を中心にボランティアグループとして設立され、これまで1年8ヶ月の間、現地で困窮するミャンマー人避難者等の支援活動を行なっている。団体名であるSpring Roseには「ミャンマーに早く平和が戻って、ミャンマーの人達に春に咲いてる薔薇見て輝いて欲しい」という思いが込められている。

WARTの紹介

「WART」は「言論・表現の自由・若者の未来」をコンセプトに漫画・イラスト・講演・論文などの表現を用いて、自由と平和な表現活動を支援する団体です。軍の弾圧下におかれた今のミャンマーでも、一コマ漫画は描かれています。作家たちは小さな一片の絵に希望を繋ぎ、描き続けています。これらの一コマ漫画をきっかけに「言論・表現の自由」に関心を持っていただき、「若者の未来」に目を向けていただけたら幸いです。



2023年1月8日(日)・9日(月)
11時~16時

写真・1コマ漫画(WART)の展示:終日
講演会:13時~15時(両日)

九州大学西新プラザ(入場無料)

(問い合わせ先)

藤原敬大(九州大学大学院農学研究院)

fujiwara.takahiro.218@m.kyushu-u.ac.jp

(主催)ミャンマー人留学生支援のための九州大学教員有志
(協力)福岡・ミャンマー友だちの会、Spring Rose、亀山仁、WART

